

日出町告示第85号

平成27年第3回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成27年8月26日

日出町長 工藤 義見

- 1 期 日 平成27年9月3日
 - 2 場 所 日出町議会議事堂
-

○開会日に応招した議員

岡山 栄蔵君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
土田 亮治君	池田 淳子君
工藤 健次君	安部 三郎君
森 昭人君	白水 昭義君
佐藤 隆信君	佐藤 二郎君
熊谷 健作君	

○9月7日に応招した議員

○9月8日に応招した議員

○9月28日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成27年 第3回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成27年9月3日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成27年9月3日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第49号 平成27年度日出町一般会計補正予算(第2号)について

日程第7 議案第50号 平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第8 議案第51号 平成27年度日出町簡易水道特別会計補正予算(第1号)について

日程第9 議案第52号 平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

日程第10 議案第53号 平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第11 議案第54号 平成27年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第55号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

日程第13 議案第56号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について

日程第14 議案第57号 日出町手数料条例の一部改正について

日程第15 議案第58号 日出町道路占用料徴収条例の一部改正について

日程第16 議案第59号 日出町情報公開条例の一部改正について

日程第17 議案第60号 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について

- 日程第18 議案第61号 日出町個人情報保護条例の一部改正について
- 日程第19 議案第62号 日出町独立行政法人緑資源機構事業負担金徴収条例の廃止について
- 日程第20 議案第63号 工事委託に関する協定の締結について
- 日程第21 議案第64号 町道の認定について
- 日程第22 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について
- 日程第23 認定第1号 平成26年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第24 認定第2号 平成26年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について
- 日程第25 報告第6号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について
- 日程第26 報告第7号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について
- 提案理由の説明
- 日程第27 発議第1号 決算特別委員会の設置について
- 散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告
- 日程第5 委員長報告
- 質疑・討論・採決
- 日程第6 議案第49号 平成27年度日出町一般会計補正予算（第2号）について
- 日程第7 議案第50号 平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第8 議案第51号 平成27年度日出町簡易水道特別会計補正予算（第1号）につ

いて

- 日程第9 議案第52号 平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
- 日程第10 議案第53号 平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 日程第11 議案第54号 平成27年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 日程第12 議案第55号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について
- 日程第13 議案第56号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 日程第14 議案第57号 日出町手数料条例の一部改正について
- 日程第15 議案第58号 日出町道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第16 議案第59号 日出町情報公開条例の一部改正について
- 日程第17 議案第60号 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第61号 日出町個人情報保護条例の一部改正について
- 日程第19 議案第62号 日出町独立行政法人緑資源機構事業負担金徴収条例の廃止について
- 日程第20 議案第63号 工事委託に関する協定の締結について
- 日程第21 議案第64号 町道の認定について
- 日程第22 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について
- 日程第23 認定第1号 平成26年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第24 認定第2号 平成26年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について
- 日程第25 報告第6号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について
- 日程第26 報告第7号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について

提案理由の説明

日程第27 発議第1号 決算特別委員会の設置について

散会の宣告

出席議員（15名）

1番	岡山	栄蔵君	2番	阿部	真二君
3番	上野	満君	4番	金元	正生君
5番	川西	求一君	6番	岩尾	幸六君
7番	土田	亮治君	8番	池田	淳子君
9番	工藤	健次君	10番	安部	三郎君
11番	森	昭人君	12番	白水	昭義君
13番	佐藤	隆信君	14番	佐藤	二郎君
16番	熊谷	健作君			

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

局長	小野裕一郎君	次長	安田加津浩君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 義見君	副町長	今宮 禮二君
教育長	西野 智行君	会計管理者兼会計課長	阿部 孝君
総務課長	村井 栄一君	財政課長	川野 敏治君
政策推進課長	井川 功一君	契約検査室長	佐藤 義人君
税務課長	脇 英訓君	住民課長	佐藤久美子君
福祉対策課長	原田 秀正君	健康増進課長	高倉 伸介君
生活環境課長	佐藤 寛爾君	商工観光課長	河野 晋一君
農林水産課長	岡野 修二君	都市建設課長	村岡 政廣君
上下水道課長	大塚 一路君	農業委員会事務局長	宮本 洋二君
教育委員会教育総務課長	宇都宮敏樹君	教育委員会学校教育課長	恒川 英志君
生涯学習課長	野上 悟君	代表監査委員	阿部 長夫君

監査事務局長 …………… 岩尾 修一君 総務課参事 …………… 藤本 英示君
財政課長補佐 …………… 帯刀 志朗君

午前10時00分開会

○議長（熊谷 健作君） 皆さんおはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（熊谷 健作君） ただいまの出席議員は、15名です。定足数に達していますので、平成27年第3回日出町議会定例会を開会します。

今期定例会には、平成27年度日出町一般会計補正予算などの議案16件、諮問1件、認定2件、報告2件が提出されています。議員各位には、慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに議事運営につきましても格別の御協力をお願いいたしまして挨拶といたします。

これより本日の会議を開きます。会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（熊谷 健作君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、2番、阿部真二君、12番、白水昭義君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（熊谷 健作君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、8月26日の議会運営委員会におきまして本日から9月28日までの26日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から9月28日までの26日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第3、諸般の報告を行います。

最初に、去る8月3日に大分県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会が、大分市の大分県医師会館で開会されましたので、その概要を報告いたします。

今定例会に上程をされました議案は7議案であります。それでは、順を追って御説明いたします。

議第8号副広域連合長の選任について、議会の同意を求めることについてであります。浜田博氏の別府市長としての任期が4月29日をもって満了となったことに伴い、空席になっていました副広域連合長に長野恭紘別府市長を選任する人事案件が提出され、異議なく同意されました。

次に、議第9号監査委員の専任について、議会の同意を求めることについてであります。3月13日をもって、広域連合議員を辞職した徳丸修氏の後任として萩本正直氏を選任する人事案件が提出され、異議なく同意されました。

続きまして、議第10号平成26年度特別会計補正予算（第4号）ですが、歳入歳出ともに26億1,143万円を増額することを、既に専決処分していたもので、補正後の予算総額は1,833億1,366万円となりました。主な内容は、国、県市町村の支出金や支払い基金、交付金等の額の決定によるものです。全会一致で承認されました。

次に、議第11号平成27年度一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出ともに9,832万円を増額し、補正後の予算総額を8億9,128万円とするもので、歳入では繰越金を9,832万円増額し、歳出では総務費を4,916万円、予備費を4,915万円、それぞれ増額しています。全会一致で可決されました。

次に、議第12号平成27年度特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出ともに41億5,828万円を増額し、補正後の予算総額を1,836億3,487万円とするものです。歳入では、市町村支出金を4,786万円、繰越金を41億1,041万円増額し、また、歳出では、諸支出金を10億7,596万円、予備費を30億8,232万円それぞれ増額しています。全会一致で可決されました。

次に、議第13号平成26年度歳入歳出決算認定では、一般会計で歳入総額6億9,880万円、歳出総額6億47万円となっており、歳入歳出の差し引き残額は9,832万円となっています。特別会計については歳入総額1,833億1,484万円、歳出総額1,742億442万円で、歳入歳出の差し引き残額は91億1,041万円となっています。賛成多数で承認されました。

次に、議第14号大分県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例の一部改正については、賛成多数で可決されました。

以上、平成27年大分県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会の概要についての報告いたします。

続きまして、大分県町村議会議長会主催の議員研修会について、御報告いたします。

去る8月28日に、日出中央公民館ホールで開催されました大分県町村議会議長会主催の議員

研修会は、講師の新潟県立大学国際地域学部准教授、田口一博氏から「町村議会のあるべき姿、住民満足度を高めるための議会活動」と題して、講演がありました。今まで、町議会、また議員として住民福祉の向上を目的として議会活動ができていたのか。また、その活動の成果が住民に評価されていたのかなど、厳しい意見の中にもユーモアを交えて、大変参考になる講話でした。今後、より一層、住民満足度を高めるため、議員活動に生かしていく、大変貴重な研修会となりました。

以上、甚だ簡単ではございますが、大分県町村議会議長会主催議員研修会の報告といたします。諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第4、行政報告を行います。町長、工藤義見君。

○町長（工藤 義見君） おはようございます。本日、平成27年第3回日出町議会定例会を開催するに当たりまして、御通知申し上げましたところ、議員の皆様にはなにかと御多用のところ御出席を賜り、御審議いただきますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、地方創生事業の取り組みについてであります。地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金を使った、地方創生先行型事業として6月13日に町のイノベーション行政講座、オープンニング講演会を開催いたしました。ビジネス教育や経営コンサルティングの分野で広く活躍されている、日出町出身の安部徹也氏に「イノベーションで地域活性化をさせる」の演題で講演していただきました。テレビやラジオなどで多くの番組に出演している安部氏の話をお聞きすると、町内外から120名の方々がお集まりいただきました。

講演では、イノベーションとは何か、イノベーションを起こした具体的な例、考える、アイデアを出す、知恵をしぼる、こういうことの大切さなどの説明がありました。講師の実体験を踏まえてのお話で、多くの参加者が共感を覚え、触発されたのではないかと思います。

この行政行動のほかに、町の部活サロン、まちづくり懇談会、まちづくり協力隊事業などを地方創生先行型事業として実施しております。また、そのほかの地方創生事業として、地域消費喚起、生活支援型に該当する元気創出プレミアム商品券支援事業、多子世帯生活支援事業、低所得者世帯生活支援事業の中で、商品券を活用した支援事業も実施いたしております。

次に、日本テキサス・インスツルメンツ日出工場跡地への企業進出についてであります。6月23日に鹿児島県で、不動産及び人材派遣事業を行っている株式会社錦祥が同日出向上跡地にミネラルウォーターの製造工場を新たに建設することになり、関係者らが県庁を訪れ、広瀬知事の立ち合いのもとに実地協定を結びました。

新たに建設されるのは、延べ床面積が約1万800平方メートルにペットボトルの製造から、水の詰め込み、出荷までの行程を行う豊後秘水日出工場が進出いたします。計画では来年3月に着工し、2017年2月から稼働する予定で、将来的には約60人の地元雇用も見込まれており、日出町の水を新たな形で多くの人に届けることになり、地元自治体としまして支援を行ってまいりたいと考えております。

さらに、6月29日には日出町と町内企業である株式会社ホックスとの間で立地協定の調印式をとり行いました。この立地は、既存の建物を利用した初めての企業立地であり、主に南棟を中心に活用する予定となっております。ホックスの小坪睦治社長は、顧客のニーズ拡大に対応し、213号線沿いの現工場の一部従業員を移転させ、新しい分野への事業拡大を行い、地元への貢献をしたいと語っておられ、日出町としても、できる限り協力を致してまいりたいと考えております。

次に、町村会県外行政視察についてであります。6月24日から26日にかけて、大分県町村会の行政視察調査に参加しましたので、その概要を御報告します。行政視察先は青森県上北郡七戸町と東津軽郡板柳町の2町であります。

最初に訪問した七戸町は、青森県東部に位置し、広大な水田地帯を形成している内陸部の町で、2本の国道が東西南北に交差しており、主要中央道や県道が放射状に伸びた広域交通条件に恵まれた町で、観光地十和田湖等への新しい玄関口として、観光振興に重点を置いたまちづくりを進めております。観光交流センターは、特産物の紹介と販売を行い、地域文化、伝統を体験できる場として設置されており、施設管理は町の商工観光課が直営で行い、軽食喫茶、特産品等の販売は物産協会、道の駅「しちのへ」に、観光案内はJRレンタカーに、駐車場内の交通整備、冬季除雪等についてはシルバー人材センターに、それぞれ業務を委託して運営されています。中でも、道の駅「しちのへ」は、充電蓄電設備や駐車場があることなどから、沿岸部で震災があった際には、防災拠点として位置づけられていました。また、環境エネルギーの推進プロジェクトにも取り組んでおり、本庁舎や小学校など、5施設に太陽光発電システムを設置し、また電気バス、電気で走るバスであります、電気バスを全国自治体として初めて導入する等の実績が評価され、平成23年度エネルギー財団会長賞を受賞されています。

次に、訪問した板柳町は、青森県の西部津軽区の中央に位置し、肥沃な堆積土で農業に適した平野が形成されており、ほとんどが平坦地で坂道がないとのことであります。町の面積の7割が農地で、その3割がりんご園ということから、全国町村の中では日本一のりんご生産量を誇っており、長期振興計画に日本一のりんごの里づくりを掲げ、特産品のりんごを中心としたまちづくりを進めていました。

平成14年にりんごの消毒に登録外の農薬を使ってしまったことが全国的に問題となり、生産

者は多大な損失をし、同時に全国の消費者に大きな不安を抱かせてしまうことになり、大打撃を受けた町であります。しかし、このことを教訓に食品生産者としての責任を再認識、安全なりんごを消費者に届けるまちづくりの意思表示として、りんごまるかじり条例を制定しました。そのほかには、読書の町を宣言していることから、家族で読書を楽しむ、家読、家の中で読むというんですが、家読を推進し、役場、中央病院、JAにまちかど文庫を設置するなど、特色のあるまちづくりの取り組みを行っていました。

訪問した七戸町と板柳町の両町とも、独自の特色あるまちづくりに取り組んだり、日出町のまちづくりに大変参考になる、視察研修でありました。

次に、日出町戦没者追悼式についてであります。7月3日、中央公民館ホールで、日出町戦没者追悼式を執り行いました。式には、遺族の方など約260名の参列がありました。過去の悲惨な史実を風化されることなく、平和の尊さを次の時代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な使命であります。今後とも、恒久平和の実現と、安心して心豊かに暮らせる社会を築くために全力を尽くしてまいります。

次に、日出町防災会議についてであります。7月10日に日出町防災会議を役場大会議室で行いました。会議では、広島県の土砂災害や御嶽山の噴火を受けて修正された国や県の法律及び計画に準拠させるため、日出町地域防災計画の修正案を提案し、各委員に協議していただきました。計画の中に南海トラフ地震、津波に対する実践的な備えや、豪雨、火山などによる災害対策などを新たに盛り込むことで、より充実した日出町地域防災計画とすることができました。この計画をもとに、日出町の防災対策をさらに推進させていきたいと考えております。

次に、的山荘100周年記念行事についてであります。国の重要文化財の指定を受けている的山荘の築100年を記念して、7月11日に現地説明会とシンポジウムを開催しました。午前中の現地説明会には、約90名が参加し、東京農業大学准教授栗野隆氏が庭園について、日出町文化財保護委員会委員の三ヶ尻勝氏が建物について、それぞれ説明を行いました。午後からは、中央公民館ホールでシンポジウムを行いました。町内外から200名以上の参加がありました。

開催の趣旨は、的山荘を始め、文化財への理解を深めていただくために企画したもので、神奈川大学教授内田青蔵氏と、旧所有者で料亭を営業されていた成清和子氏の両氏の基調講演と、熊本大学大学院教授伊東龍一氏による基調報告が行われ、的山荘の価値や現状の状況を再認識することができました。

また、その後パネルディスカッションを通じて、的山荘の歴史を振り返ることで、貴重な文化財として大切に継承していかなければならないという思いは、皆さん、共通の思いと強く感じた次第であります。

次に、HiCaLi開館記念式典についてであります。7月18日Bivi日出の2階に町立

図書館と多目的施設で構成される、「交流ひろばHiCaLi」をオープンさせました。関係者と町内の小学校1年生によるテープカットの後に行われた開館記念式典では、HiCaLiの命名者である大坪文人氏を御紹介し、絵画と書籍750冊を図書館に寄贈いただいた矢野小児科院長の矢野英二氏と、図書館に時計3台を寄贈いただいた日出町豊の船の会に感謝状をお渡しいたしました。式典の後に開館した町立図書館には多くの来場者が訪れ、新しい図書館の広さと充実さ、整備に驚きながらも喜んで使っている様子を見ることができました。

次に、第4回ハモ祭りについてであります。7月19日に大神漁港で第4回のハモ祭りが開催されました。日出町の強い支援のもと、大分県漁業協同組合日出支店のハモ部会が主催しているお祭りで、ハモを町内だけでなく、町外の方にも広く知っていただくとうと企画されたものであります。

祭りには、非常に多くの方が訪れ、用意していた約1千人分のハモが飛ぶように売れる様子が見られました。同所では、からあげ、串揚げなども販売され、多くの方にハモの美味しさを堪能していただけたのではないかと考えております。

以上、甚だ簡単であります。行政報告とさせていただきます。

○議長（熊谷 健作君） 行政報告が終わりました。地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので御報告します。

日程第5. 委員長報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成27年第2回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査等の結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 土田亮治君。7番。

○総務産業常任委員長（土田 亮治君） 総務産業常任委員会の閉会中の審査について御報告申し上げます。

当委員会は、去る8月4日に現地調査と所管各課の事務調査を行いましたので、御報告をいたします。

現地調査では、避難路、避難地の整備状況を視察いたしました。まず、大神真那井地区の海拔20メートル地点の県道跡地の避難地と避難路を視察し、里道を利用した避難路は、道幅が狭い印象を持ちましたが、避難路としては十分であるとのことでした。

次に、日出、北浜地区の避難階段を視察いたしました。海拔3メートルの居住地から、避難地は海拔10メートルの地点となるそうですが、委員から、急傾斜地の看板が立っていることに対し、懸念の声もありました。

豊岡、本町地区の避難地、住吉大明神は海拔6メートルと低地のため、心配されますが津波予

想最大の高さは日出港で0.01メートルとのことでした。

最後に、豊岡、西の三地区では、本年度に私道の115メートルほどを避難路とする予定となっています。

また、川崎、日出地区の臭気問題に関する視察をいたしました。川崎地区工場地帯からの臭気について苦情等があり、各事業所に対し、事前聞き取り調査を行いました。その後、業者委託による周辺13カ所の臭気調査を行ったところ、数カ所で臭気が感じられたとのことでした。この調査は、引き続き年4回行うことになっています。委員からは、地点調査だけでなく、周辺住民からの聞き取りも行うよう、意見が出されました。

続きまして、事務調査の御報告をいたします。

まず、総務課より職員採用について、本年度5名の退職予定者があるため、7名の採用を予定しているとのことでした。その他、影平地区に防火水槽を設置する、消防団21部各部長と積載車に小型無線機を常備するとの説明がありました。

次に、財政課より複式簿記の導入と統一的な基準による地方公会計のため、現在固定資産台帳の整備を行っていること、そして、地方創生事業補助金で日出町に1千万円の追加配分があるとの報告がありました。委員からは、川崎工場についてホックスとの契約はどうなっているかとの問いに、契約及び工事について、ほぼ終了した旨の回答でした。また、企業誘致について、地元説明会は実施しているかとの質問があり、商工観光課から地元区長には説明しているとのことでした。

政策推進課との合同説明では、豊岡地区メガソーラーの設置について、反対あるいは心配をしている3区、50人程度の出席があり合同説明会を開催した。住民の方々は、三川の増水、氾濫を心配しているとの報告に、委員からは川の氾濫と地元の心配に対してどう対応していくのか、地元が反対した場合の対応はどのようにするのかとの質問がありましたが、三川の増水と心配解消が最優先と考えている。設置地区は賛成しているが、反対地区に対しては理解を求めていくとの説明でした。また、ソーラー設置と川の問題を別に考えることは住民に理解されないのではないかという意見もありました。藤原相原地区のソーラー設備についても、相原地区も心配されているが、現在どうなっているのかとの質問があり、7月8日、29日に土砂の流出、流木等の被害が出ているとの報告でした。

次に、政策推進課から日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会の説明があり、委員から懇談会の主な目的は何か、メンバー以外の人からは意見を聞かないのかとの質問があり、人口ビジョンの説明、総合戦略の基礎を提示している。産官学金労言のうち、学のメンバーがいないが、別途有識者会議を発足するとのことでした。

また、連携中枢都市圏構想について説明がありました。これは、連携中枢拠点都市である大分

市と首長がグループをつくり、大分市と各首長が各々の契約を取り付けていくもので、参加首長は大分市、別府市、臼杵市、津久見市、豊後大野市、由布市、日出町、竹田市の7市1町です。そして、地域おこし協力隊の選任についても報告がありました。契約検査室からは、契約、検査状況について説明がありました。

次に、税務課より太陽光発電設備に係る固定資産課税の状況と、コンビニ収納の状況について、説明がありました。太陽光設備関連の本年度課税は、償却資産が4,900万円、土地が670万円余りで、昨年度の2倍となるそうです。コンビニ収納は全3万1,852件のうち24%の7,628件。特に、軽自動車税の収納が多くなっているようです。

生活環境課では、委員から町配布の薬剤で消毒作業をしている地区はどれくらいあるか、柏川の産廃場はどうなっているかなどの質問があり、それぞれ、消毒は十三、四地区、産廃場は埋め立て期間が終了しているとの回答でした。

次に、商工観光課からは、7月18日に行われた的山荘築100年記念の夕暮れ演奏会で、100名の参加があったこと。同所で、8月から11月の間、期間限定でハモ料理、的山御膳を3,240円で提供すること。9月20、21日のビーチフェスタは、ビーチバレー、ビーチサッカーとスポーツに特化した行事とすること。川崎工場跡地の企業誘致、プレミアム商品券の完売、B i v i 日出オープン後の売り上げが好調であること等について報告がありました。

委員から、川崎工場跡地の水工場はどうなっているかとの質問があり、錦祥は29年2月の操業を予定している。ホックスは6月29日に立地協定し、本年10月操業を予定しているとの説明でした。また、水工場の誘致により、グラウンドが使用できなくなることに問題はないかの問いには、使用者に対してやや説明不足があったとのことでした。

続いて、農林水産課からは、今年度の畜産共励会は中止し、次年度以降は廃止との報告。鳥獣被害対策用の電気柵施設における安全確保について、また7月の台風11号被害について報告がありました。委員からは、世界農業遺産のその後はどうなっているかとの質問には、日出町では農業遺産的なものが薄いので、日出町独自に湧水を売りにしたい旨の回答がありました。

次に、都市建設課から、8月10日に道の日になんで、町道の拡幅等の用地提供者15人に感謝状を贈る予定であるとの報告と、糸ヶ浜のパークゴルフ場については、9ホールを直営で増設し、18ホールにしたいとの説明がありました。照明の設置、クラブハウスはどうするのかとの質問に、照明は防犯上設置する。クラブハウスは、売店だったログハウスの一部借用を考えているとのことでした。

上下水道課からは、簡易水道、上水道統合計画の経過報告。小田城浄水場第3配水池、築造工事の入札、上下水道料金滞納者に対する給水停止措置の状況について、報告がありました。

最後に、農業委員会事務局より農地転用の状況について、説明がありました。

以上、閉会中の総務産業常任委員会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 川西求一君。5番。

○福祉文教常任委員長（川西 求一君） 閉会中の福祉文教常任委員会の所管事務調査の報告をいたします。

去る8月4日、町長、教育長ほか所管各課長の出席を求め、委員全員出席のもと、日出町立図書館開館後の運営状況並びに所管各課の事務調査及び保育園との意見交換会を行いました。

まず、生涯学習課より、7月18日交流ひろばHiCaLiに合わせ開館した、日出町立図書館のその後の運営状況について説明を受けました。本年7月31日現在の蔵書冊数は、寄附、寄贈等を合わせ6万1,791冊であり、開館以来12日間の来館者数9,328人、貸し出し冊数9,708冊、貸し出し人数2,420人との報告を受けました。1日の平均の貸し出し冊数や貸し出し人数は、昨年度日平均のそれぞれ3倍から4倍となっているとのことです。これまでの利用実態の中から、委員より喫茶室や学習室の利用について、町民の方々よりさまざまな意見が寄せられていることから、図書館や交流施設についてはあくまでも公共利用施設であることから、利用者の方がたには、最低限のルールを理解してもらう努力、これは管理運営者としての責任ではないかとの意見が出されました。現状、交流の場となる喫茶室や多目的施設など、行政施設がまだ未整備の状況の中で、開館時期が夏休みと重なったことや、商業施設、交流施設の複合であることから、さまざまな問題や課題が浮き彫りとなっていることは、管理運営者も十分認識している中で、学びの場、すなわち図書館の教育部局、交流の場の行政部局、相互の課題について十分検討し、早期ルール化を図りたいとの町長及び教育長の回答を得ました。

また、今後の図書館運営においては、より幅広い分野からより多くの町民の声を取り入れる見地から、年度内において図書館長については民間の方より公募を募っていききたいとの報告がありました。いずれにいたしましても、学びと交流の場づくりは施設が完了してからの運営が真価を問われるところです。引き続き、当委員会といたしましても交流ひろばHiCaLiについては、傾注していききたいと思います。

次に、中央体育館の耐震工事について、工事内容の変更により体育館の全面使用禁止期間が発生したことの報告がありました。委員よりの利用者に対する代替え施設の確保状況の質問に対しては、学校体育館等最大限利活用をお願いしながら、今期の県体練習等においては十分ではないが、川崎体育館などを有効活用のもと理解を求めているとの回答でした。なお、工期と全体金額の変更はないとの報告を受けました。

次に、教育総務課より教育環境の整備の一環として、町立小中学校エアコン設置計画の案の説明を受けましたが、本年の夏場の天候不順等もあり、再度9月の実態調査も必要なことから、継続して調査を行っていききたいと思います。

次に、学校教育課より、本年度両中学校の各種競技において、九州大会出場報告及び不審者事案対応についての説明を受けました。

九州大会等、遠隔地において行われる協議に対しての町補助については、毎年度において予算の変動はあるものの、児童や保護者の皆様から、大変スポーツ活動を続けていく上で喜ばれており、補助効果は大きいのではないかとの見解でした。また、児童生徒に対する不審者事案等の防犯対策としては、パトロール強化や不審者情報の地域住民への詳細情報、こういうことによる抑止力の働きかけを検討したらどうでしょうかという委員の要請がありました。

給食センターからは、センター建設に向けた第2回の幹事会を7月28日に行い、基本ビジョン並びに基本的整備計画について協議を行い、今9月議会に報告予定があるとの説明を受けました。当案件につきましても、今議会において引き続き、委員会において調査を進めてまいりたいと思います。

続きまして、当委員会では、各課の所管事務調査に引き続き、本年4月からスタートした子ども・子育て支援新制度について、事業者として具体的に地域子ども・子育て支援事業にさまざまな意見等を拝聴をしようと、日出町保育協議会との意見交換会を当委員会室で実施いたしました。町内全ての7認可保育所より理事長、園長の出席をいただき、貴重な現場からの声を聞くことができました。当委員会としても、初の試みでもありましたので、フリートークの形式で行ったところです。

まず、当該制度の移行で何が変わったのか、何が変わろうとしているのかを中心に保育現場の実態の中から気づく点について、意見をいただきました。保育現場として新たな作業として、子供たちの年齢による分類、認定作業を行わなければならないことや、保護者の就労状態による保育時間の変化による短時間児童に対する管理など、各園における事務処理が増大している現状があるとのこと。今後、平成31年までに各認可保育所が幼保連携型認定こども園に移行するには、さまざまな課題が山積している状況の中で、各園ともゼロ歳から5歳までの児童の保育教育に対して、受け皿づくりの必要性、これを強く感じると同時に制度への不満、不安もある中、非常に熱心深く賢明に取り組んでいる姿勢が伺われました。

新制度における行政への具体的検討課題として示されたことは、保護者の育児休暇の取り扱いについて、出生後、年度をまたがった1カ年は、入所が可能となるよう再考を望まれました。今後の人口減少時代を前に、少子化対策の大きな施策として子ども・子育て支援は、どの自治体も大きな行政課題であるだけに、幼保小と、垣根を超えた議論が必要だと強く感じました。委員会といたしましても、引き続き、今回の意見交換会の内容を精査しながら、子ども・子育て新制度の研さんに努めてまいりたいと思います。

以上、甚だ簡単ではありますが、閉会中の福祉文教常任委員会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会改革特別委員会委員長 川西求一君。5番。

○議会改革特別委員長（川西 求一君） 議会改革特別委員会は、閉会中に議会基本条例の制定に向けての取り組みについてを協議事項の議題といたしまして、5回の委員会を開催しましたので、その概要を御報告いたします。

閉会中の御報告の前に、まず、去る8月26日、日出町中央公民館におきまして、議会基本条例の制定に向けての取り組みの一環として実施しました日出町議会基本条例住民説明会に議員全員の出席をいただき、まことにありがとうございました。議会基本条例の制定に向けた、大きな弾みとなりました。御苦労さまでした。

5回の開催しました委員会の御報告をいたします。6月24日及び7月8日につきましては、議会基本条例素案について読み合わせ及び議会における災害発生時の対応要綱、議員の政治倫理規程両案についての検討を行ってまいりました。また、7月15日及び7月30日につきましては、議会基本条例制定に向けた住民説明会の開催要領等を検討するとともに、8月7日に開催する委員全体説明の実施に向けた協議を行ってまいりました。8月20日木曜日は、住民説明会に向けました最終確認を行うとともに、委員の役割分担をそれぞれ行い、説明会資料の作成を行ってきたところでございます。

議会改革特別委員会活動の主要課題であります、日出町議会基本条例制定に向け、今後とも先に行われました住民説明会や、また住民から寄せられましたメール等でいただいた貴重な御意見や御要望について、委員会において再検証を行い、引き続き、協議検討を重ねていくことといたしますので、議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

甚だ簡単ではありますが、議会改革特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。11番。

○議会報編集特別委員長（森 昭人君） それでは、議会報編集特別委員会の報告を申し上げます。

当委員会は閉会中の7月15日、21日の2回にわたり委員会を開催をいたしまして、6月定例会並びに第1回臨時会の報告であります議会だより第101号の編集を行いました。

今回の主な内容といたしましては、臨時会に提出された議案の採決並びに反対賛成討論の報告や、先般開催をいたしました議会基本条例住民説明会に参加される町民の皆さんに対しまして、条例案を事前に目を通していただくための条例案の掲載並びに議会における災害発生時の対応要綱案、議会議員政治倫理規程案の全文を掲載したところであります。なお、この議会だよりは7月30日に全戸配布をいたしました。

また、7月31日には熊本県菊池市議会報特別委員会の視察を受け入れまして、私ども編集員6名と意見交換を行いました。我々編集委員会も毎年全国研修に参加をいたしておりましたが、

このような行政視察の受け入れを行いまして、意見交換をすることに対しても大変重要であるという認識であります。今後も機会あるごとに視察を受け入れるとともに、また他市町村へも出向きまして、先進地の取り組みを学ぶことで委員一同、より一層、町民の皆様に読んでいただける議会だよりの紙面づくりに取り組んでいきたいと思っております。

以上、甚だ簡単であります。議会報編集特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会運営委員会委員長 佐藤隆信君。13番。

○議会運営委員長（佐藤 隆信君） 議会運営委員会の報告を行います。

議会運営委員会は、閉会中の7月22日から24日まで奈良県斑鳩町へ議会活性化の取り組みについて、また大阪府大阪狭山市へまちづくり円卓会議場について、行政視察研修を行いましたので、その概要について報告いたします。

まず、奈良県斑鳩町は奈良県の西北部に位置し、面積は14.27平方キロメートルと狭い町で、人口は2万8,251人とほぼ日出町と同じくらいです。法隆寺の建立など、古い歴史を持つ町ではありますが、高度経済成長以降、大阪のベッドタウンとして都市化が進み、人口はわずかではありますが年々増加している町であります。また、3次産業が7割強の町で、平成の大合併では7町での合併の話がありました。住民投票を行った結果、8割の住民が反対し、合併協議会から離脱し単独自立のまちづくりを進めた経緯です。

視察調査項目であります。議会活性化について特徴のある部分としては、議員定数が13人、最年少が30歳、最年長は63歳で平均年齢が51.3歳と非常に若く、議会構成では4常任委員会に議員が2つの委員会に所属する複数所属制度を取り入れていました。また、本会議の運営については、議案の配付は定例会初日の3日までに、町長の施政方針、議案、提案、説明資料も印刷し、議員全員に事前に配付をしていました。一般質問については、締め切りは定例会初日の午後1時まで、質問順序は締め切り後にくじ引きで決定することです。町民に親しまれる開かれた議会の取り組みとして、子供模擬議会を平成7年から毎年1回開催しており、小学6年生から中学1年生、16名程度が一般質問をされているとのことでした。また、議会基本条例については、条例を制定することが目的ではなく、斑鳩独自の弾力性のある斑鳩モデルをつくっていくのがよいのではないかとの意見が出され、現在は策定の検討を行っていないとのことでした。

住民懇談会については、平成25年6月より議会改革、議会の活性化、議員の資質向上を論議し、その1つとして、各種団体との意見交換の実施が提案され、斑鳩町議会住民懇談会実施要領を制定し、多くの住民から意見を取り入れながら、議会活性化に取り組んでいるとのことでした。

次に、まちづくり円卓事業について視察を行った大阪狭山市は大阪南部に位置し、面積は11.92平方キロメートルと非常に狭く、人口は5万7,753人で大阪府内では3番目に人口の少ない地ですが、平成23年には50歳からの住みやすい町ランキング全国第4位、平

成25年には高齢者対応度調査全国70位、また本年の住みよさランキング全国61位、大阪府内で第2位と、すばらしい環境の市でありました。しかし、大阪狭山市では市民の自治区加入率が64%と低いため、何かまちづくり、地域間の活性化のためにと、地域からの発言で考えられた施策がこの円卓会議であり、また最終的に円卓会議の地域の声を市長が聞き入れ、立案し、地域のことは地域で考えて実践するとしたマニフェストに基づいて、平成19年4月に中学校区単位で地域協議会を設立し、有志、まちづくりメンバーなどさまざまな人によって設立準備委員会を発足し、長い準備期間を経て、平成25年4月より施行されるようになりました。この円卓会議の特徴は、市民がNPO法人などを設立し、まちづくりを行い、市は1中学校当たり最高500万円の財政援助と職員による補助的指導を行うことでもあります。

以上、今回の視察研修を終えて、議会の活性化については一般質問の通告締切日や議案質疑の発言制限などなど、今後取り組んでいかななくてはならない検討すべき課題があるのではないかと感じるところであります。また、まちづくり円卓会議では、日出町でも住民が自由に参加できるまちづくり協議会を組織し、そこに自由に使うことのできる予算配分と職員の配置を行い、地区公民館、ふれあいセンターを含めた、日出町にしかないようなまちづくり事業ができればと痛感したところでもあります。

以上、甚だ簡単ではありますが、議会運営委員会行政視察研修の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 7番、土田亮治君。

○総務産業常任委員長（土田 亮治君） 訂正の報告をさせていただきたいのですが、どうですか。

○議長（熊谷 健作君） 委員長の発言を許可いたします。

○総務産業常任委員長（土田 亮治君） 先ほどの総務産業常任委員会の閉会中の所管事務調査の報告の中で、津波予測の日出港での最高の高さを0.01メートルと申し上げたようですが、5.01メートルの誤りでした。訂正申し上げます。

○議長（熊谷 健作君） 以上で委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（熊谷 健作君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査

の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第6. 議案第49号

日程第7. 議案第50号

日程第8. 議案第51号

日程第9. 議案第52号

日程第10. 議案第53号

日程第11. 議案第54号

日程第12. 議案第55号

日程第13. 議案第56号

日程第14. 議案第57号

日程第15. 議案第58号

日程第16. 議案第59号

日程第17. 議案第60号

日程第18. 議案第61号

日程第19. 議案第62号

日程第20. 議案第63号

日程第21. 議案第64号

日程第22. 諮問第1号

日程第23. 認定第1号

日程第24. 認定第2号

日程第25. 報告第6号

日程第26. 報告第7号

提案理由の説明

○議長（熊谷 健作君） 日程第6、議案第49号平成27年度日出町一般会計補正予算（第2号）についてから、日程第26、報告第7号地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定についてまでの議案16件、諮問1件、認定2件、報告2件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。

○町長（工藤 義見君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは議案16件、諮問1件、認定2件、報告2件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第49号平成27年度日出町一般会計補正予算（第2号）についてであります。

補正します額は1億7,680万3千円で、補正後の予算総額は104億4,350万円となります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、民生費では、昨年度給付した臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の国庫補助金返納金を計上しております。

商工費では、地方創生事業として新たに雇用を創出する企業に対して、創業支援を行う雇用拡大推進事業費を計上しております。

土木費では、町道改良事業や漁港浚渫工事等を追加計上しております。

教育費では、自治公民館増改築等に対する補助金と、前万里図書館の建物の一部の改修費を計上しております。今回の補正予算の財源としましては、普通交付税、前年度繰越金、地方債などにより財源措置しております。

次に、議案第50号平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度決算に伴う繰越金を計上しております。

次に、議案第51号平成27年度日出町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、簡易水道経営統合事業に係る財源の組み替えをするものであります。

次に、議案第52号平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、浄化センター、汚泥処理施設工事に係る債務負担行為を計上しております。

次に、議案第53号平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度決算に伴う繰越金を計上しております。

次に、議案第54号平成27年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、小田城浄水場配水池築造工事に係る債務負担行為を計上しております。

次に、議案第55号日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について、議案第57号日出町手数料条例の一部改正について、議案第59号日出町情報公開条例の一部改正について及び議案第61号日出町個人情報保護条例の一部改正についてであります。これらは、いずれも行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、必要となる条例の制定及び一部改正を行うものであります。

次に、議案第56号議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

についてであります。被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第58号日出町道路占用料徴収条例の一部改正についてであります。道路法の施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第60号公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正についてであります。公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第62号日出町独立行政法人緑資源機構事業負担金徴収条例の廃止についてであります。独立行政法人緑資源機構法を廃止する法律の施行に伴い、関係する条例を廃止するものであります。

次に、議案第63号工事委託に関する協定の締結についてであります。日出町公共下水道日出町浄化センターの建設工事委託に関する協定を締結する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第64号町道の認定についてであります。新たに8路線について町道の認定を行うため、道路法の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、諮問第1号人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。現在、同委員として就任していただいております堀質氏の任期が平成27年12月31日で満了するため、引き続き同氏を推薦したいので、議会の皆様の御意見を求めるものであります。

次に、認定第1号平成26年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてであります。

まず、一般会計の決算につきましては、歳入決算額が96億640万3,959円、歳出決算額92億6,046万7,325円で、歳入歳出差し引き額は3億4,593万6,634円となっております。このうち翌年度に繰り越すべき財源を差し引きますと、実質収支は2億1,080万3,809円の黒字となりました。

また、8つの特別会計の合計決算額は、歳入決算額70億6,100万2,006円、歳出決算額69億8,271万6,733円で、歳入歳出差し引き額は7,828万5,273円となっております。

地方自治法第233条第3項の規定により、決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付すものであります。

次に、認定第2号平成26年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてであります。

地方公営企業法第32条第2項の規定により剰余金を処分することについて、議会の議決を求めるとともに、同法第30条第4項の規定により決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付するものであります。

収益的収入及び支出につきましては、収入額4億1,736万1,856円に対しまして、支出額3億5,466万1,735円で、損益計算では当年度純利益5,927万8,873円となりました。

資本的収入及び支出につきましては収入額151万5,978円に対しまして、支出額は1億3,097万8,447円で、1億2,946万2,469円の収支不足額を生じましたが、損益勘定留保資金等で補填をいたしたところであります。

次に、報告第6号及び報告第7号につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、平成26年度決算に係る健全化判断比率及び各特別会計の資金不足比率について監査委員の審査に付し、その意見をつけて議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（熊谷 健作君） 提案理由の説明が終わりました。

日程第27. 発議第1号

○議長（熊谷 健作君） 日程第27、発議第1号決算特別委員会の設置についてを議題といたします。

お諮りします。認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、議長並びに監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、決算特別委員会を設置し、審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、日出町議会委員会条例第6条第1項の規定により、議長並びに監査委員を除く全議員を指名したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名をいたしました議長並びに監査委員を除く全議員を決算特別委員会委員に選任することに決定しました。

これより、決算特別委員会委員長及び副委員長の選任を行います。委員長及び副委員長の選任の方法は、日出町議会委員会条例第7条第2項の規定により、決算特別委員会において互選することになっておりますので、委員長及び副委員長の互選をお願いいたします。

委員長及び副委員長の互選が終わるまで、ここでしばらく休憩をしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩をいたします。会議室へお集まりください。

午前11時12分休憩

.....

午前11時17分再開

○議長（熊谷 健作君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

決算特別委員会において正副委員長の互選が行われ、その結果の報告が議長の手元にまいりましたので御報告いたします。

決算特別委員会委員長に金元正生君、副委員長に上野満君が互選された旨の報告がありました。

以上で、決算特別委員会の設置及び委員の選任を終わります。

散会の宣告

○議長（熊谷 健作君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午前11時19分散会
